TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

# 王は来られた II 山に逃げなさい！

マタイによる福音書 24:15-28

2023 年 5 月 6 日&7 日

余沢 武 牧師

## I. イントロダクション

こんにちは。日本政府が 5 月 8 日(月)から新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けを引き下げることに伴い、私たちも月曜日から新型コロナウイルス感染症に関連するガイドラインをすべて解除します。

5 月 27 日と 28 日は、礼拝中に「年次総会」を行い、予算承認のための投票を行います。 予算案は全教会員に E メールで送られています。
教会員の方で、まだ受け取っていない方は、教会事務所までご連絡ください。また、後ろのテーブルで印刷した予算案を手に入れることもできます。
教会員の方で、5 月 27 日または 28 日に欠席することが分かっている方は、本日、献金の時に「不在者投票」を行うことができますので、献金バスケットに入れてください。

先週は、イエスがエルサレムの神殿の破壊を予言しているのを見ました。イエスは次のことが事前に起こるとおっしゃっていました。

① 偽メシア
② 戦争や戦争の噂
③ 飢饉や地震
④ 迫害---人々が殺される。
⑤ 偽預言者

しかし、これらは労苦の始まりに過ぎません。紀元 70 年に実際の破壊が起きたわけですが、その痛みはこれらよりもはるかに大きなものであったでしょう。今日はイエスが弟子たちにどのように対応するように指示したかを見ていきます。まず祈りましょう。

## II. 山に逃げなさい！

### (1)荒廃をもたらす憎むべきもの

マタイによる福音書 24 章 15 節から 20 節です。[15] 「預言者ダニエルの語った荒廃をもたらす憎むべきものが、聖なる場所に立つのを見たら――読者は悟れ――、 [16] その時、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。 [17] 屋上にいる者は、家にある物を取り出そうとして下に降りてはならない。 [18] 畑にいる者は、上着を取りに戻ってはならない。 [19] それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ女に災いがある。 [20] 逃げるのが冬や安息日にならないように、祈りなさい。

彼らが預言者ダニエルの語った「荒廃をもたらす憎むべきもの」を見るとき、それが「エルサレムの神殿」が破壊されるときです。
「荒廃をもたらす憎むべきもの」とは、神の神殿が冒涜されることを指しています。紀元前 168 年、ギリシャのアンティオコス 4 世エピファネスによって一度行われました。彼は、「エルサレム神殿」にゼウスのための祭壇を置き、その上で汚れた動物である豚を生け贄に捧げました。
つまり、イエスは、このような出来事がまた神の神殿で起こると言うのです。対応する箇所ルカによる福音書 21 章 20-21 節で、ルカはイエスが何について話されていたのかを教えています。「エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。その時、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。」

つまり軍隊によって破壊されるということです。ユダヤの歴史家「ヨセフス」は、ローマ兵がエルサレムを征服したとき、皇帝崇拝の像を描いた旗を携えていたと伝えています。そして、彼らは神殿でこれらの像に生贄を捧げました。イエスはこのことを言っていたのです。

つまり、イエスが言っていることはこうです。このことが起こるとき、ローマ兵が来るとき、
屋上でくつろいでいても、家の中のものを取ろうとしてはいけません。山へ逃げなさい。
畑仕事をしているなら、上着を取りに行かないで、すぐに山へ逃げなさい。
彼は「身重の女と乳飲み子を持つ女に災いがある」とおっしゃいましたが、これは、「妊婦と授乳中の母親は哀れだ」という意味です。
冬や安息日にはこれが起こらないように祈りましょう。冬は、雨で逃げるのが難しくなるからです。安息日には、ユダヤ人クリスチャンの中には、旅を拒否する人がいるかもしれません。

（2）　大きな苦難

21節から22節です。[21] その時には、世の初めから今までなく、今後も決してないほどの大きな苦難が来るからである。[22] 神がその期間を縮めてくださらなければ、誰一人救われない。しかし、神は選ばれた人たちのために、その期間を縮めてくださるであろう。

イエスは、これは天地創造以来最悪の苦難になるだろうとおっしゃいました。イエスが前におっしゃったように、天地創造の時から流されたすべての正しい血が彼らの上に罰せられると彼らが何度も多くの正しい者、預言者を殺し、そしてやがて神の子と使徒を殺すからです。

イエスが起こると言ったら、起こるということを忘れないでください。ヨセフスは、エルサレムがローマ軍に囲まれて5ヶ月間包囲されたときに起こったことを記録していました。彼はこう言っています：
家々の中で上の階には、飢えで死にそうな女性や子どもたちがたくさんいました。
通りは高齢者の死体で溢れかえっていました。
若い男性や子供たちは、飢えで顔や体が腫れ上がり、影のように市場をさまよっていました。そして、突然、彼らは倒れて死んでしまいました。
死者を埋葬する際に、多くの死者が出るのを見たので、誰も死者を埋葬しようとしませんでした。
死ぬ前に自ら棺桶に入る人が多くいました。
町は完全に静まり返っていました。 誰も泣いたり嘆いたりしませんでした。死にゆく者たちは、目の前で死んでいった者たちを無感動に見つめていました。
死んだ者たちはみな神殿を見つめたまま死んでいきました。

包囲の終わり頃、ローマ兵が略奪のために家に入ると、家の中では家族全員が死んでいるのを見つけました。上の部屋へ行っても死体でいっぱいでした。彼らはその光景に恐れをなして、何も手をつけずに家を出て行きました。

生き残った者はローマ人によって処刑されるか、奴隷にされました。ヨセフスによると、110万人が虐殺もしくは餓えで死亡しました。そして9万7000人のユダヤ人が奴隷にされました。

先ほどイエスが話されたように、彼らが「神の子」とその弟子たちを殺害した後、神の怒りの杯が満ちて、裁きが来るのです。イエスがそうなると言ったら、そうなるのです。
イエスは、その日のために弟子達がしっかりと備えているように確かめたのです。歴史は、彼らがそうしたことを物語っています。

クリスチャンの歴史家エウセビオスによると、エルサレム陥落の3年前、別のローマの将軍がエルサレムに向かって進軍してきました。クリスチャンたちはそれをイエスが予言した警告だと見ました。彼らはイエスの言葉に従い、逃げました。

エルサレムに住んでいたクリスチャンのほぼ全員が、破壊される前にエルサレムを離れました。それだけでなく、神は彼らの祈りに答えてくださいました。包囲は冬には来ませんでした。8月に来たのです。「神の言葉」と「祈り」の力を思い起こされます。

続けます。23節から28節です。[23] その時、『見よ、ここにメシアがいる』『いや、ここだ』と言う者がいても、信じてはならない。[24] 偽メシアや偽預言者が現れて、大きなしるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちをも惑わそうとするからである。[25] あなたがたには前もって言っておく。[26] だから、人が『見よ、メシアは荒れ野にいる』と言っても、出て行ってはならない。また、『見よ、奥の部屋にいる』と言っても、信じてはならない。[27] 稲妻が東から西へひらめき渡るように、人の子もそのように来るからである。[28] 屍のある所には、禿鷹が集まるものだ。

エルサレムと神殿が破壊されたことで、多くの人が世界が終わり、イエスが世界を裁くために戻ってくると思っていることをイエスは知っていました。イエスは「神殿の終わり」と「世界の終わり」は別の出来事であることを人々に理解させました。

偽メシアに惑わされてはいけないとイエスはおっしゃっています。どのようにでしょうか？　イエスは、天から降りてくるのが見えないなら、それは見逃したのではなくて、偽物だからだ、とおっしゃっています。主が来られるときは、空に稲妻が見えるか、ハゲタカが集まるところに死骸が見えるかのように、一目瞭然です。

（3）　応用

さて、戦争の時、通常、人々は城壁のある町から逃げずに、身を守るために城壁のある町に逃げ込むでしょう。しかし、イエスはその逆で、山に逃げなさいと言われました。なぜなら、彼は神であり、ご自分の民にとって何が最善かを知っておられるからです。そして、彼らが耳を傾けるとき、彼らは「神の善」を見ます。
神はノアに箱舟を作るように言われたとき、ノアは耳を傾け従い、「神の善」を見ました。
神はロトにソドムを離れるように言われたとき、ロトは耳を傾け従い、「神の善」を見ました。

ですから、ほかの人の体験談を聞くのではなく（それは良いことではありますが）、日々の QT で実際に聖書を読むことを強くお勧めします。実際に御言葉に耳を傾け従うことで、私たちは「神の善」を体験することができます。

ディボーションブックを読むなと言っているのではありません。しかし、主の言葉である聖書も読むようにしましょう。

私と美樹が結婚したとき、何人かの人が私たちに夫婦のディボーションブックをくれました。その中の一冊を毎朝の夫婦のデボーションに使うことにしました。しかし、どういうわけか、毎日その本を読むと、相手の嫌なところを思い出すのです。

私たちは、毎朝デボーションの後、お互いに言い争ったり、怒ったりすることになりました。ある日、私たちはそれをやめて、ただ各自が別々に聖書を読み、後で神様から教えられたことをお互いに分かち合うことにしました。すると、すべてが変わりました。

聖書を読んでいると、他人の問題を考える代わりに、神が自分自身の問題を明らかにしてくれて、どう変わればいいかを教えてくれました。その結果、私たちはそれによって変わることができただけでなく、それによって互いに励まし合うことができるようになったのです。

弟子たちは、イエスの言葉に耳を傾け従いました。そして、彼らは「主の善」を体験しました。もし、みなさんが毎日こうしていないのであれば、今日からそうすることをお勧めします。

さて、イエスは弟子たちを「肉体の死」から救うために、弟子たちに指示を与えました。弟子たちはそれに耳を傾け従ったので、彼らは生きました。しかし、イエスの究極の目的は、私たちを「霊的な死」から救うことです。なぜなら、イエスは「神の永遠の裁き」が来ることを知っておられるからです。

イエスは、私たちの罪のために、十字架で罰せられるためにご自身を捧げられたのです。 そして、私たちにこう話されました。
私たちの罪の罰として彼の死を受け入れるなら、永遠の罰から逃れることができます。
復活されたイエスを主とすることを決めれば、そのための聖霊の力を与えてくださるのです。 そして、私たちは生きるのです。

イエスはエルサレムに裁きが訪れると言われました。そうなりました。イエスは「永遠の裁き」があると言われました。そうなるでしょう。主が起こると言ったら、起こることを忘れないでください。そして主を信じるなら、私たちは生きるのです。私たちが主の言葉に耳を傾け従うとき、私たちは「主の善」を経験することになります。今日、イエスを受け入れてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1923jp

★クラス 301
賜物発見クラス
5 月 13 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101/201 を修了していること

★クラス101
教会員になるためには
6 月24日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

# 奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org